

ピアス皮膚炎

●かぶれ、ただれが進行し
金属アレルギーの危険も

池袋ピアスセンター

高橋 知之



たかはし・ともゆき＝池袋ピアスセンター医師(形成外科)、徳島大学医学部卒、癌研究所病院を経て現職。振り出しは外科、次いで乳がん手術後の再建手術に興味を持って形成外科に転向、今はピアス専門という経歴を持つ。

人体には、いくつかの穴があるが、現代では若い女性を中心に、新たに二つ穴が増えてきた。耳たぶにあげるピアスの穴である。

もともと、人為的にあげるわけだから、穴が完成しないうちは、あくまでもナマ傷である。ケアが悪ければ、トラブルが生じる。

このピアスの穴のトラブルの治療と予防に、二年前から専門的に取り組んでいるのが、東京・池袋ピアスセンターの形成外科医・高橋知之さんだ。

高橋さんは、以前は、やはり医師である奥さんが開業した眼科医院で、眼科の形成外科を担当していた。それが、なぜピアス専門になったかというところ。

「うちの眼科の患者には、コンタクトレンズの処方など、若い女性が多かったのですが、その多くがピアスによるトラブルも起こしていたんです。ところが、テキストにはピアスはずすぐらいの治療法しか出ていない。それでは、ピアスをはめたいという彼女たちの現実には即していない。これはどうにかしなくてはと、取り組み始めたわけです」

18金ピアス使用者の三〇％にトラブルが

そのトラブルとはどんなものか、順を追って見てみよう。

ある女性がピアスをつけてみたいと考えたとする。彼女は、まずアクセサリー屋に行く。店員は、「穴ができあがるまでは、これをつけてください」

と、18金のシンプルなファッション・ピアスをすすめる。

その後、彼女の取る行動は二とおりある。女性たちの間では、穴は自分でもあけられると流布されているので、自宅で耳たぶを氷で冷やして感覚をマヒさせ、太めの針で穴をあけ、18金のピアスをはめる。

一方、多少慎重な女性なら、医者にあけてもらう。日本ではピアスの穴あけは医療行為だから、その選択は一応、正しい。外科、内科、皮膚科、耳鼻科など、どこでも頼めば、たいていはやってくれる。医者は局部麻酔して、注射針で穴をあけ、彼女が持参した18金のピアスをはめる。それから先は、彼女が自分でケアをする。その点は、自分で穴をあけようと、医者にあけてもらうと同じ。

実は、そこに問題があるのだ。

アレルギーを起こすピアスの金属イオン

ピアスを付けっぱなしにしておくと、うまくいけば、ピアスの軸に沿って穴の中に皮膚が伸び、一カ月くらいで穴の内側が皮膚でおおわれ、穴が完成する。つまり、穴をつくるということ。マ傷を化膿させずに治すことなのだ。だから、彼女は一生懸命、消毒したり、軟膏を塗ったりする。「ところが、消毒も軟膏も、それだけでは、あまり意味がないのだ。穴の中の傷の面からは、リンパ液などの滲出液が絶えず出てきます。滲出液をいかに誘導するかが、傷を治す基本。そのとき、アクセサリー屋で買った18金のピアスがトラペルの基になってくるのです」。

18金のピアスは、もともとフアッシュン用で、軸が直径約〇・六と細めにできています。だから、穴も細くなる。細いと滲出液が外に出にくくなり、中にたまってしまふ。そこに細菌が感染し、化膿する。耳たぶは仏像の耳のように腫れる。あるいは、あふれ出たウミなどでかぶれてしまふ。

「でも、その段階だったら、治療のしようもあります。こわいのは、さらに進んで金属アレルギーになってしまふ危険性があること。18金ピアスは純度七五％で、残りの二五％は銅やニッケルです。それらの金属のイオンが傷口から入り、体内に拒絶反応を起こす。重症だと、金属に触れただけにかぶれなどを生じ、一生、腕時計も指輪もできなくなってしまうこともあるのです」。

たとえば、A子さん(二七)のケース。

七年前、18金のピアスを買ひ、自分で穴をあけてはめた。じくじくした感じが続き、穴がなかなか完成しない。それでもピアスしたさのあまり、我慢していたら、半年ほどして患部が化膿し、ウミが出てきた。仕方なくピアスはずした。患部は治癒したが、穴はなくなりました。

二年前、今度は18金ピアスを持参して医者に穴をあけてもらったが、一カ月で化膿してしまつた。諦めきれずに、一年後、同じ医院へ。しかし、またもや化膿。穴のところに小指の先くらいの腫瘍(しこり)ができて、別の美容外科で治療してもらつた。

それでも、懲りずにまた一年後、ピアスに挑戦。すぐに腫れ上がり、高橋さんのところに駆け込んできたときには、すでに金属アレルギーになっていた。

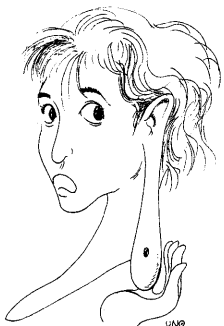
「18金ピアスは材質的にも形状的にも、穴あけに不適です。そのことを、女性はもちろん、アクセサリー屋も医者も知らなさすぎるんです。私の経験では、穴あけに18金ピアスを使った人の三〇％は、なんらかのトラブルが発生しています」。

治療に効果あがる24金製とシリコン製

そこで高橋さんが「これは是非もの」と勧めるのが、「スタッド」と呼ばれるアメリカ製の穴あけ専用ピアスだ。医療用ステンレスを純金・24金・メッキしてあり、完全滅菌。軸が直径一と大きくて滲出液が外に出やすい。また純金なのでイオン化しにくく、金属アレルギーも予防できる。

この24金ピアスを、やはりアメリカ製のピアスガンで、一瞬のうちに耳たぶに打ち込むと痛みも出血もなく、最速という。

高橋さんは、シリコン製のピアスも独自に開発している。



「患者は、ピアスをはずされ、穴がふさがつてしまふのをいやがって、医者にかかろうとしない。そこで、ピアスをしたまま治療ができ、治ったときには、穴も完成しているような方法として、皮膚にやさしいシリコンを思いついたわけです。二千人近い患者に使って、効果を上げています」
金属アレルギーになつてしまつた人には、軸をシリコンでコーティングしたアクセサリー用のピアスも開発されているようだ。
「日本のピアス人口は今後も増えるでしょう。いまのままで、金属アレルギーが社会問題になるのは必至。ピアスについて、正しい知識を普及させないと、とんでもないことになる」
と、高橋さんは警告している。

(K)

病名カトルテ

●五十種類もある厚生省認可品

【定義】ピアスの穴から出た滲出液や消毒液による皮膚のかぶれ(接触性皮膚炎)と、穴の中の化膿からなるピアス特有の皮膚疾患。症状が進むと、金属アレルギーになる可能性もある。

【初心者心得】

①穴をあけてから完成するまでは、穴あけ専用の24金メッキのピアスを使う。厚生省認可品が五十種類ほどある。
②穴の完成まで、ピアスを前後によく動かしたり、指でしばったりして、穴の中の滲出液を充分に外に出す。

③滲出液や消毒液は、ついたままにせず拭き取る。消毒液は、刺激の強いオキシフルやアルコールなどを避ける。

④順調にいけば、穴は一カ月ほどで完成するが、安全のためには半年間は24金ピアスを装着したほうがいい。

【ピアス装用者】十八〜二十歳の女性が圧倒的に多い。最近では「月十万人ペースで増えている」(高橋さん)

【ピアス先進国】「女性の九五％はピアス」といわれるアメリカでは、穴あけが医療行為ではなく、アクセサリー屋でもできるため、より安全な方法が考えられた。

【大昔のピアス】古代エジプトの王の仮面、日本の埴輪、鎌倉の大仏、達磨大師の絵などの耳たぶには、ピアスやピアスの穴がある。ピアスは太古の昔からあつたわけだ。